



施工業者様用

〈施工説明書〉

H24 2方枠 片引き戸・引き違い戸・ 引き分け戸・4枚引き違い戸(上吊りタイプ)専用枠材

ドレタス

固定枠155mm幅・170mm幅

[標準] 両側ソフトクローズ

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

両側ソフトクローズのトリガー位置が変わりますので、トリガー取付位置を必ず確認してください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。



禁止

- ・屋内専用。
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。
- ・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。
インパクトドライバーの締めつたトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。

- ・ビスはビス穴に取り付ける。
ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

- ・開梱後は換気を行なう。
本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。
- ・躯体に欠点がないことを確認する。
枠材固定のビスがあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、枠材が確実に固定されず、はずれてしまう原因となり危険ですので、強固に固定できるように下穴や下地材を入れてください。

- ・補強の飼木(現場調達)を入れる。
ソフトクローズ仕様の時は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれがあります。
- ・同梱の金具を使用する。
本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

■ 梱包内訳表 ※同梱されていても使用しない部材があります。

枠本体セット								
部材名		下地材 	下地鴨居 (クロス下地)	下地鴨居 (クロス下地)	縦枠 (戸先側)	縦枠 (戸尻側)	中方立	上吊 レール
			 	 	 	 	 	
入 数	片引き戸	1本	1本	—	1本	1本	1本	1本
	引き違い戸	1本	—	1本	2本	—	—	2本
	引き分け戸	1本	1本	—	—	2本	2本	1本
	4枚引き違い戸	1本	—	1本	2本	—	—	2本
備 考 (部材品番等)		—	—	—	—	—	—	—

ビスセット(枠本体セットに同梱)								
袋の色			赤	赤	赤	黄	黄	透明
部材名			木ダボ  6mm 35mm	組み立て ビス  62mm φ3.8mm	下枠固定 ビス  25mm φ3.5mm	躯体接合 金具ビス  47mm φ3.8mm	六角レンチ  7mm L50mm	クッション キャップ  φ16
セット品番								
入 数	片引き戸	ZYMK01-□	2本	6本	5本	10本	1本	8個
	引き違い戸	ZYMH01-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個
	引き分け戸	ZYML01-□	2本	8本	9本	12本	1本	8個
	4枚引き違い戸	ZYMH01-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個
備 考 (部材品番等)			使用しません	鴨居の 取り付けに 使用します。	使用しません	壁枠と躯体の 固定に 使用します。	使用しません	—

金具セット【標準:両側ソフトクローズ】										
部材名										
セット品番										
入 数	片引き戸	ZYCKW25	1個	1個	2個	—	—	6本	1	2
	引き違い戸	ZYCHW25	2個	2個	2個	2個	—	12本	2	4
	引き分け戸	ZYCLW25	2個	2個	2個	—	1個	11本	2	4
	4枚引き違い戸	ZYCIW25	4個	4個	2個	2個	2個	22本	4	8
備 考 (部品品番等)			ZYTF21	ZYTSG21	ZYENDA25	ZYENDN25	ZYTLS21	ZYCA25	ZYTSCW21	ZYTTG21

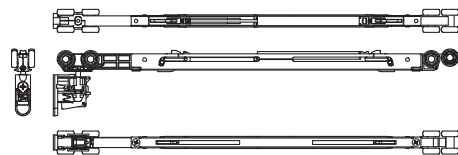
引き手方向の確認

※片引き戸の場合のみ。

片引き戸には、引き手方向によって左右の区別がありますので、ご確認のうえ施工してください。

右引き

左引き



クローザー本体

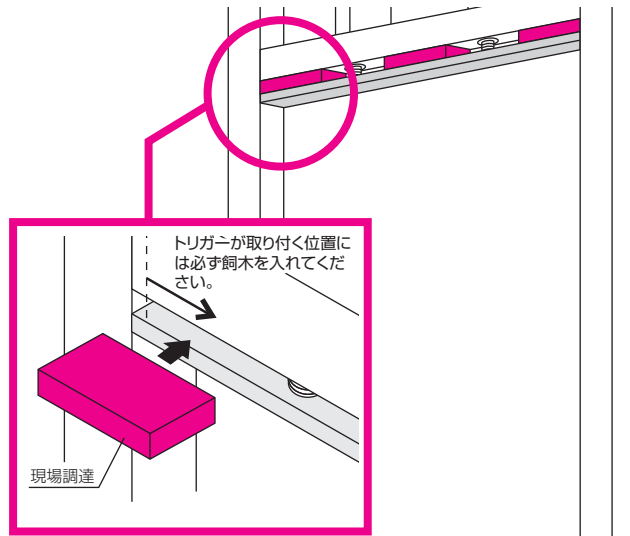
片引き戸・引き分け戸 (②・③のみ) ※下記部材図は右引きの場合			引き違い戸
① 縦枠 (戸先側)	② 縦枠 (戸尻側)	③ 中方立て	縦 枠

※ () 内寸法は170mm幅の場合

必ず行ってください!!

ソフトクローズ仕様の場合、鴨居に負荷がかかりますので、トリガーの取り付け位置の鴨居裏には必ず補強用の飼木（現場調達）を入れてください。

※将来ソフトクローズ仕様へ変更する可能性がある場合にも、あらかじめ補強用の飼木を入れておいてください。

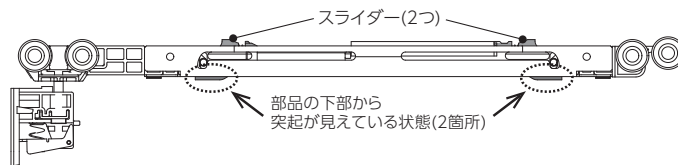


ソフトクローズ付き吊り車【施工注意事項】

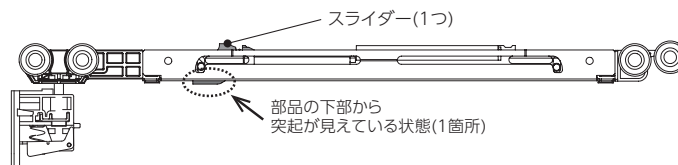
レールに挿入する前に「正常状態」であることを確認してください。
「エラー状態」である場合は、スライダーを動かし「正常状態」にしてから取り付けください。

正常状態

両利きタイプ



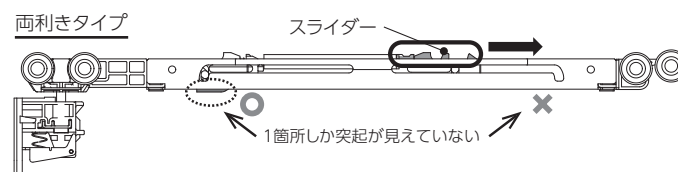
片利きタイプ



※片利きタイプはスライダーが「左側」にしかありません。

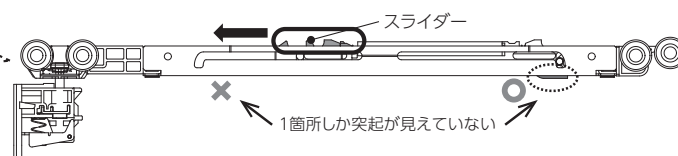
エラー状態

「カチッ」と音がするまでスライダーを引っ張ると「正常状態」になります。



片利きタイプの 場合

※両利きタイプと動作は一緒です。イラストは一部異なりますが、右図と同じようにスライダーを動かしてください。



ソフトクローズ機能復帰方法 扉吊り込み後

ソフトクローズ機能が作動しない場合、突起の状態を確認してください。
エラー状態である場合は、突起が見えていない方向へ扉を強く押し付けてください。



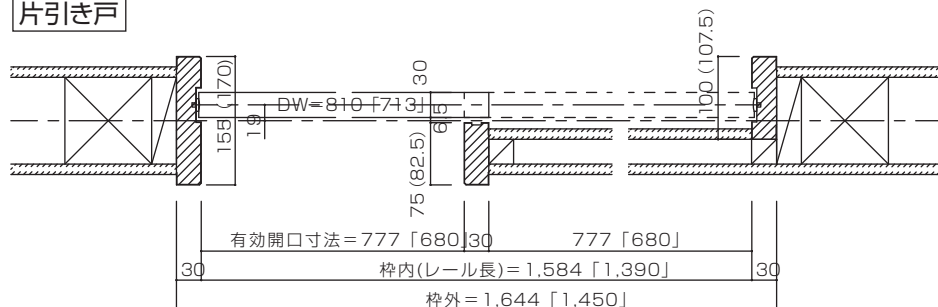
扉を動かして機能が作動することを確認してください。
復帰していない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。

納まり図

横断面図

(単位:mm)

片引き戸



引き分け戸



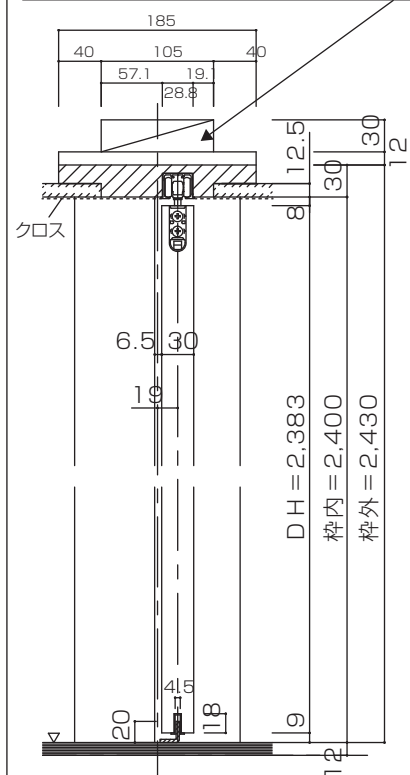
※ ()内は170mm幅の寸法です。

縦断面図

(単位:mm)

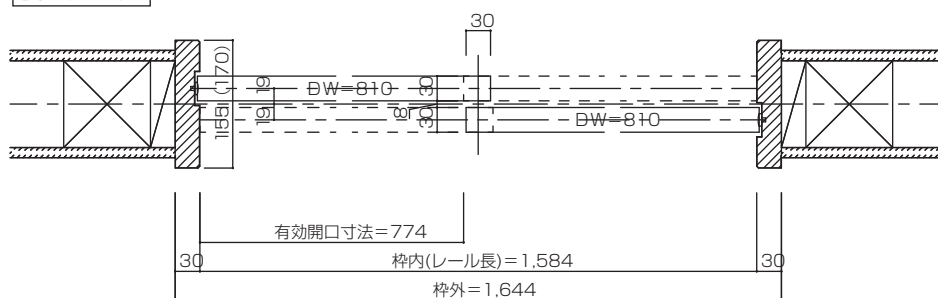


注意 鴨居上部には30mm以上の下地を入れてください。下地鴨居が垂れ下がる可能性があります。

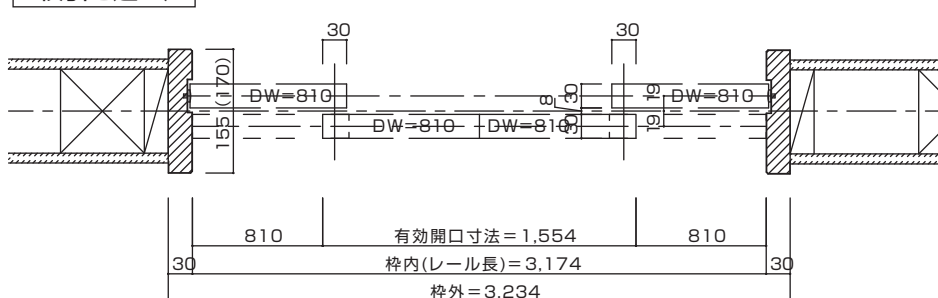


(単位:mm)

引き違い戸



4枚引き違い戸

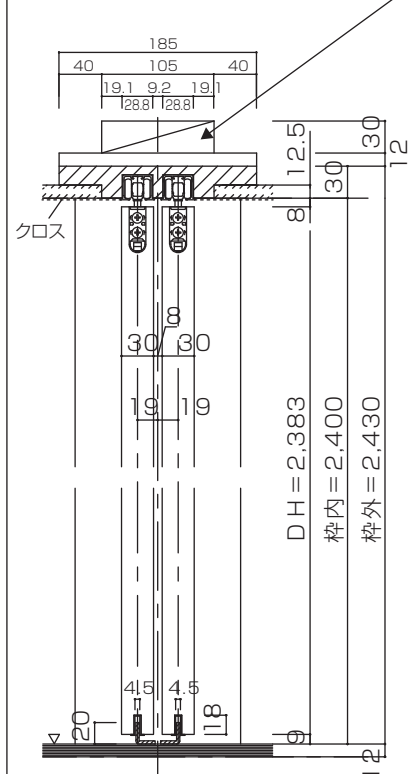


※ ()内は170mm幅の寸法です。

(単位:mm)



注意 鴨居上部には30mm以上の下地を入れてください。下地鴨居が垂れ下がる可能性があります。



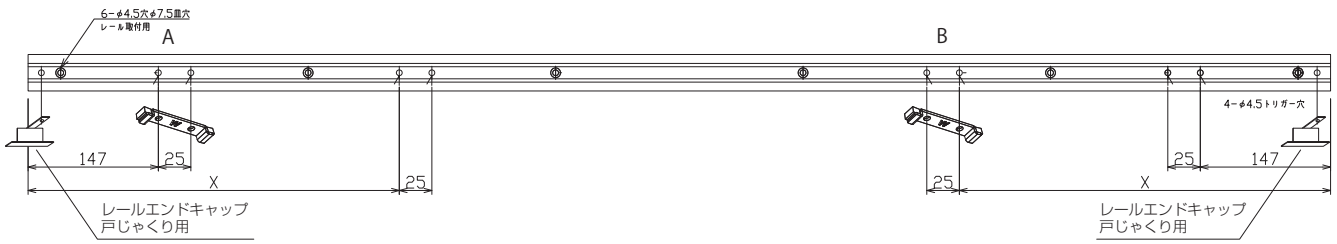
■上吊レールビス穴詳細図

L	X	DW
1389	392	713
1583	489	810

(単位:mm)

■片引き戸

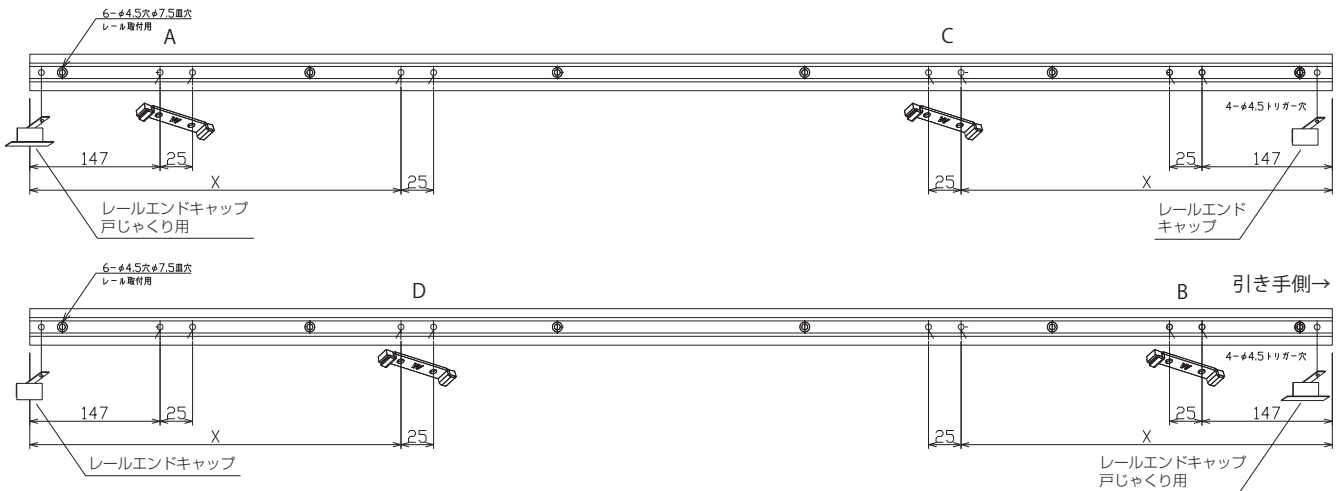
←引き手側



トリガー位置 両側ソフトクローズ仕様 AB

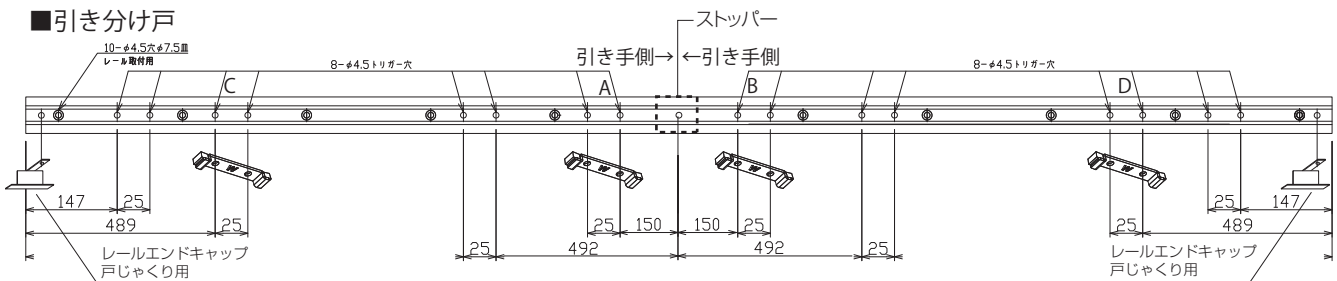
■引き違い戸

←引き手側



トリガー位置 両側ソフトクローズ仕様 ABCD

■引き分け戸

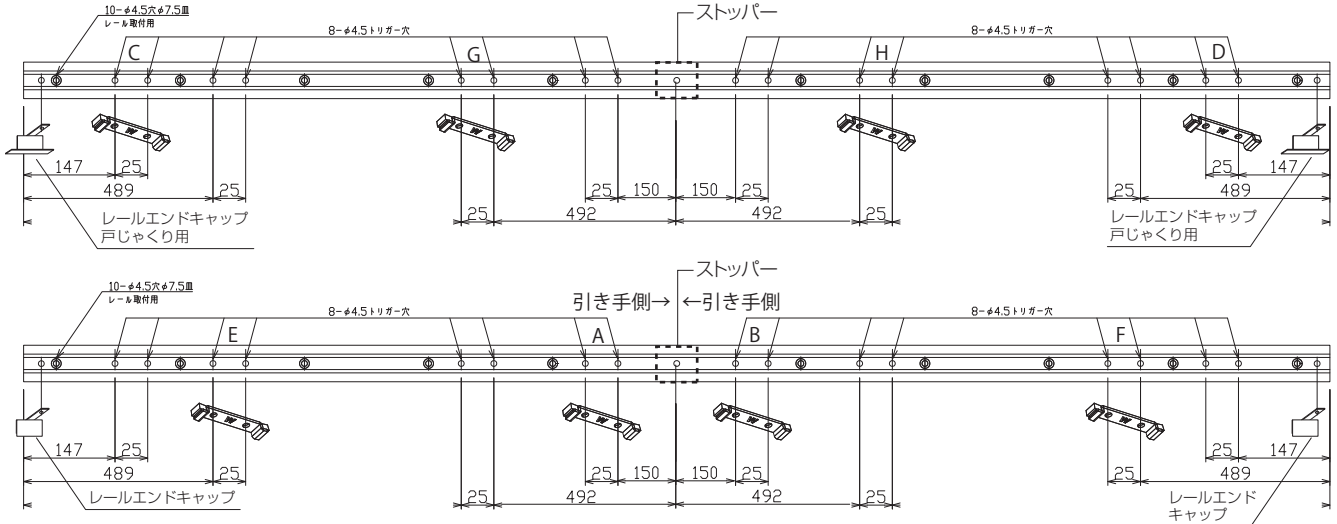


トリガー位置 両側ソフトクローズ仕様 ABCD

■4枚引き違い戸

←引き手側

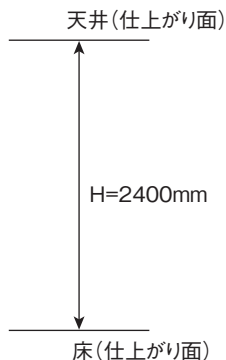
引き手側→



トリガー位置 両側ソフトクローズ仕様 ABCDEFGH

施工手順

1 開口部の確認



⚠ 注意

扉の高さがH=2383mmになります。
天井高がH=2400mmになるように
仕上げてください。

片引き戸



引き違い戸／4枚引き違い戸



引き分け戸



⚠ 注意

縦枠の内々に天井取り付けの上吊レールが取り付けます。枠の内々の天井部分は荷重に耐えられるように必ず補強をおこなってください。天井下地の補強が不十分だと、扉、上吊レールが脱落・転倒するおそれがあります。
※天井下地にはLV野縁システムを推奨します。

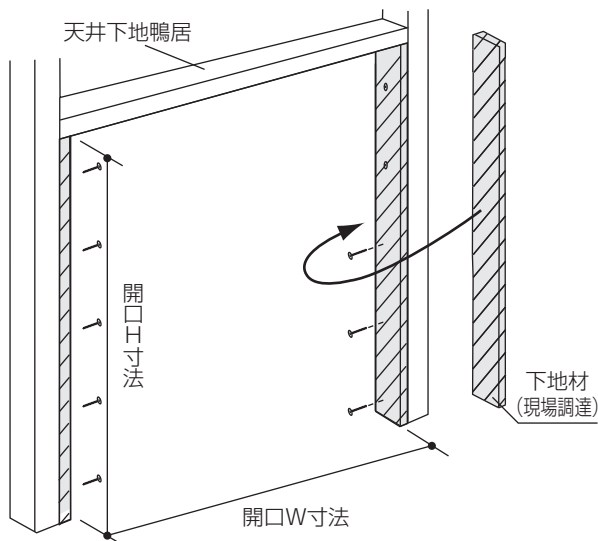
2 天井下地鴨居の取付け

天井下地鴨居を柱や間柱間に納まるよう、現場カットしていただき施工をしてください。

鴨居が垂れ下がらないように同梱の組み立てビスを使用して、レール溝から固定してください。

※レールが入るため、ビス頭が飛び出さないようにご注意ください。

「片引戸」「引違い戸」：3箇所以上、「引分戸」「4枚引違い戸」：5箇所以上

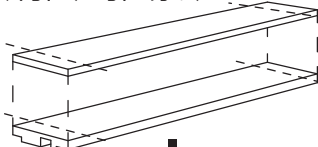


ドレタス用 天井下地鴨居

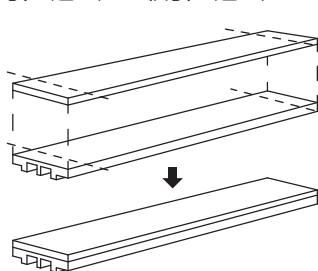
2枚1組の鴨居です。施工前にフィニッシュや木ビス(現場調達)等で仮止めて施工していただく事をお勧めします。

※現場カットしてご使用ください。

片引き戸・引き分け戸

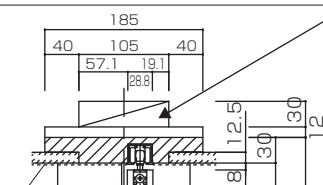


引き違い戸・4枚引き違い戸



⚠ 注意

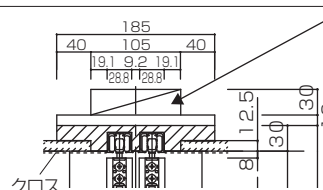
鴨居上部には30mm以上の下地を入れてください。下地鴨居が垂れ下がる可能性があります。



クロス

⚠ 注意

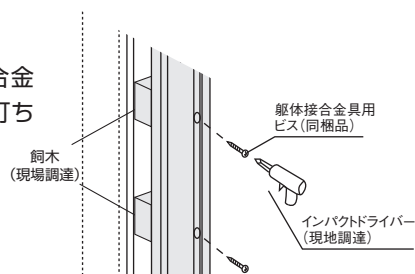
鴨居上部には30mm以上の下地を入れてください。下地鴨居が垂れ下がる可能性があります。



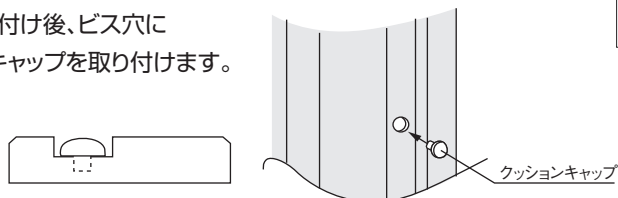
クロス

3 縦枠の取り付け

枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビスを縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。

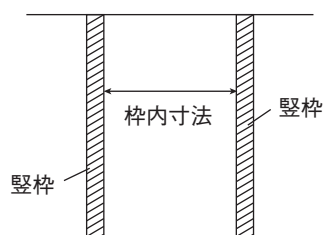


縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



⚠ 注意

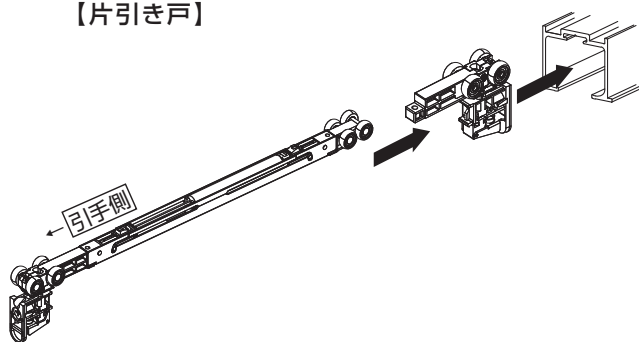
縦枠を取り付けるときは、納まり図をよく確認し、枠内寸法を確保してください。枠内寸法が異なっていると扉が納まらない可能性があります。



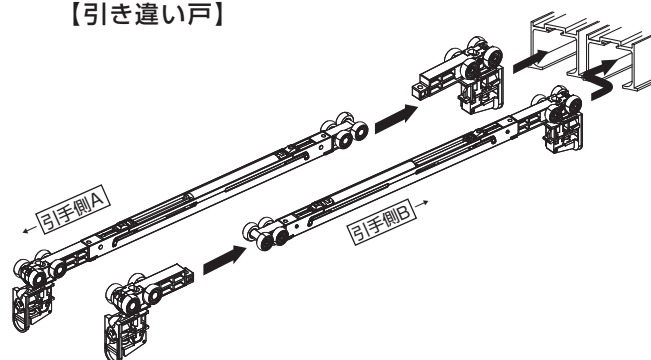
4 吊車の挿入

両側ソフトクローズ仕様 標準仕様

【片引き戸】

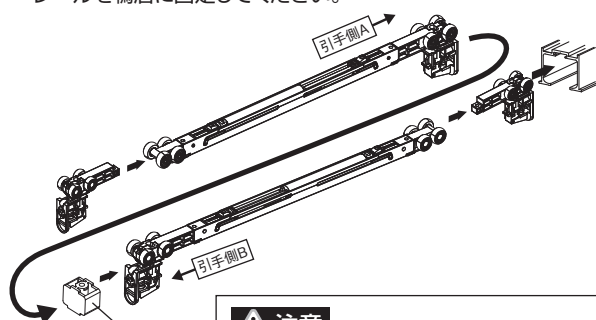


【引き違い戸】



【引き分け戸】

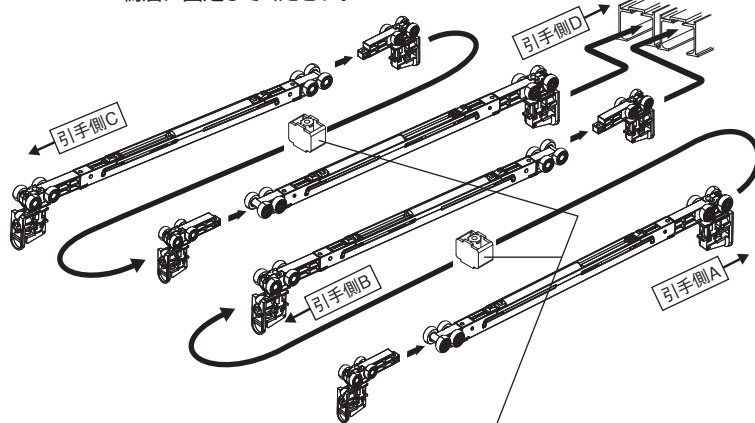
レールにクローザー本体の引手側B→
ストッパー→引手側Aの順に挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



注意
引き分けストッパーは、あらかじめクロー
ザー本体を挿入する際にレール内に入れ
ておき、レール鴨居取り付け後に、5ペ
ージの「上吊レールビス穴詳細図」に記載の
ストッパー用穴に同梱の専用取り付けビ
スで取り付けてください。

【4枚引き違い戸】

※必ずストッパーも挿入してからレールを
鴨居に固定してください。



注意
引き分けストッパーは、あらかじめクロー
ザー本体を挿入する際にレール内に入れ
ておき、レール鴨居取り付け後に、5ペ
ージの「上吊レールビス穴詳細図」に記載のスト
ッパー用穴に同梱の専用取り付けビスで取
り付けてください。

5 上吊レールおよびトリガーの固定

縦枠取り付け後、天井のクロス仕上げ後に
上吊レールを取り付けてください。

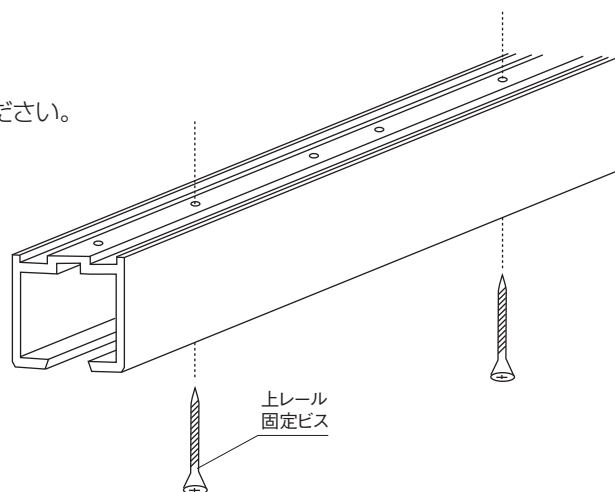
5ページの「上吊レールビス穴詳細図」を参照し、
レール固定穴に同梱の取り付けビスで確実に固定させてください。
※ビスを取り付ける前に下穴をあけておいてください。



注意
・レール取り付けビスを打ち込む場所にはビスがきちんと効くよ
うに下地の補強を確実にしておいてください。(5P参照)
・吊車を挿入した状態でレールをかたむけると、吊車が落下して
しまうおそれがありますので、レールを取り付ける際は平行にし
て取り付けてください。



注意
トリガーの取り付けは、手回しドライバーにて行ってください。
トリガーがしっかりと取り付けされていない場合、
もしくは、正規の取り付け位置に取り付けていない場合ソフト
クローズの動作不良の原因となります。

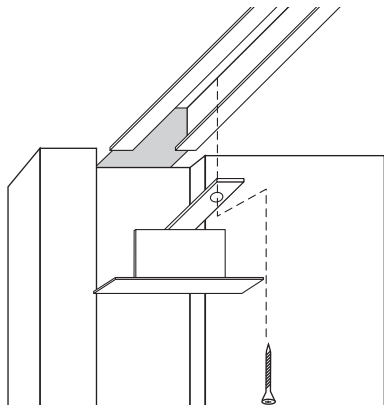


※必ず同梱のビスを
使用して下さい。

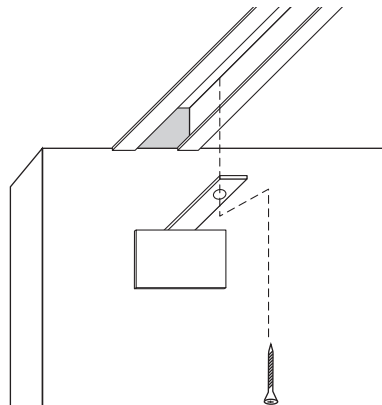
- ・L=1,389の場合……5箇所固定
- ・L=1,583の場合……6箇所固定
- ・L=3,173の場合……8箇所固定

6 レールの端部にレールエンドキャップの取り付け

縦枠に防間しゃくりがある場合、
同梱の「レールエンドキャップ 戸じゃくり用」を、
レール側に下穴が開けてありますので、
(5ページ参照)同梱のビスを使用して取り付け下さい。



縦枠に防間しゃくりがない場合、
同梱の「レールエンドキャップ」を、
レール側に下穴が開けてありますので、
(5ページ参照)同梱のビスを使用して取り付け下さい。



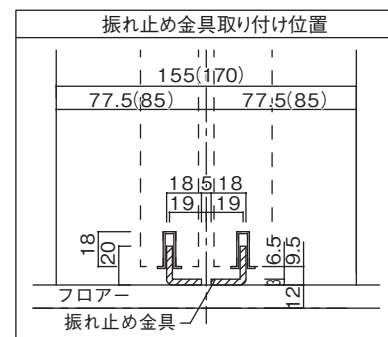
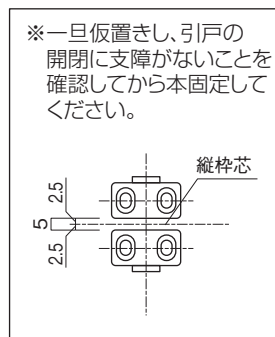
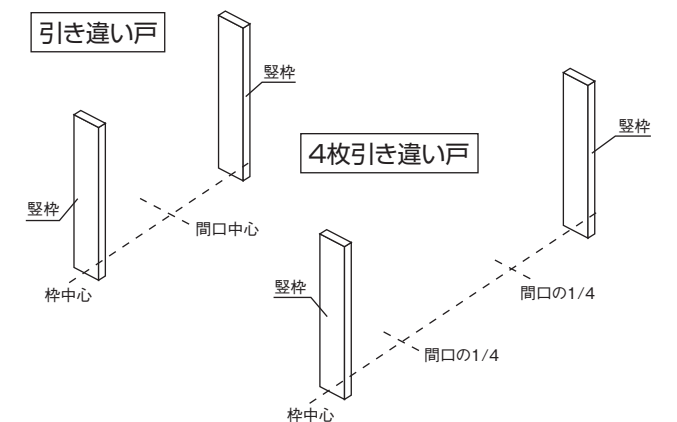
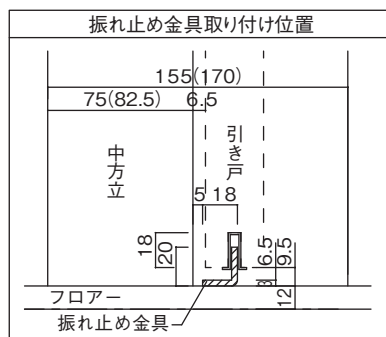
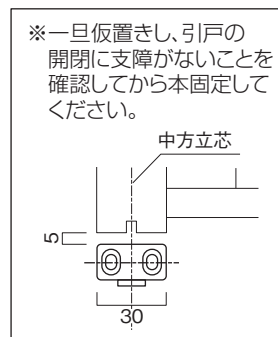
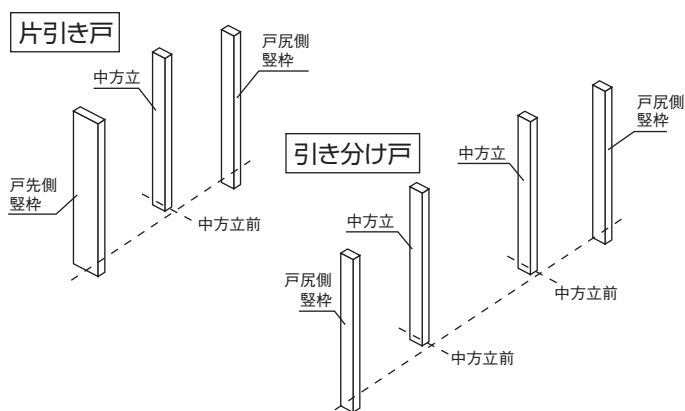
7 小壁、中方立の取り付け

小壁を施工し、中方立を取り付けてください。

※中方立は水準器などを使用して垂直になるように、ビス(現場調達)で
小壁に固定してください。

※小壁施工には引戸側への反りが発生しにくく、軸組とボードを簡単に
施工できる小壁下地材「小壁パネル(別売品)」を推奨しています。

8 振れ止め金具の取り付け



施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。